

CRAFT 2.1+N スクリーニングインタビュー

医師が口頭にて実施すること。

次を言うことから初めて下さい：「今からお尋ねする質問はすべての患者さんに尋ねているものです。できるだけ正直に答えてください。守秘義務により、お答えいただいた内容を口外する事はありません。」

パート A

過去 12 ヶ月で、次の行為をした日数を教えてください：

1. ビール、ワインなど、アルコールを含む飲料を2, 3口以上飲む。一切ない場合は 0 と教えてください。
2. マリファナ（事例：大麻、オイル、ワックス、喫煙、ベイピング、ダビング、または食用物）あるいは「合成マリファナ」（事例：「K2」または「スパイス」と呼ばれます）を使用することがありますか？
3. 興奮した状態になるために他の薬物等を服用することがありますか？（事例：他の違法な薬物、ピル、市販の処方薬ならびに鼻から吸引する、吸う、または蒸気を吸う薬物等、ベイプまたは注射）
4. ニコチンおよび/またはフレーバー含有のベイピングデバイス* または何らかのタバコ製品を使用することがありますか†？ * 電子タバコ、モッド、JUUL 等のポッドデバイス、パフバー/ベイプペン/e フーカーなどの使い捨てベイプ。† タバコ、シガー、シガリロ、フーカー、噛みタバコ、スナッフ、スヌース、溶解性タバコ、ニコチンポーチ

患者が次のように回答した場合...

パート A のすべての質問に“0” の記入



下のパート B の最初の質問のみ聞いて、そこで止める

質問 1、2、3 で“1” 以上の数字



下のパート B の 6 つすべての質問をする

質問 4 で“1” 以上の数字



次ページのパート C の 10 すべての質問をする

パート A

丸で囲んでください

- | | | | |
|---|--|-----|----|
| C | アルコールや薬物を使用して「ハイ」になっている誰か（自分自身を含め）が運転する車に乗ったことはありますか？ | いいえ | はい |
| R | リラックスするためや、気分を良くするため、または周りに合わせるためという理由で、アルコールや薬物を使用したことはありますか？ | いいえ | はい |
| A | 一人でいるとき、または自分一人でアルコールや薬物を使用したことはありますか？ | いいえ | はい |
| F | アルコールや薬物を使用している間に自分が何をしたら忘れてしまったことはありますか？ | いいえ | はい |
| F | 家族 ^か や友達から、アルコールや薬物の量を減らすように言われた事がありますか？ | いいえ | はい |
| T | アルコールや薬物を使用している時に、何かトラブルに巻き込まれたことはありますか？ | いいえ | はい |

* 「はい」の答えが 2

つ以上の場合は、深刻な問題を抱えていることを示唆し、更なるアセスメントが必要とされます。次の手順は裏に記載してあります。 →

パート C

以下は、ニコチンおよび/またはフレーバーを含有するペイピングデバイス（電子タバコ等）または何らかのタバコ製品*を使用したことがあるかどうかについての質問です。それぞれの質問に対する回答を丸で囲んでください。

丸で囲んでください

- | | | |
|--|----|-----|
| 1. これらの製品の使用を止めようとしたが、できなかったことがありますか？ | はい | いいえ |
| 2. 禁煙は非常に難しいので、現在も電子タバコまたはタバコ製品を使用していますか？ | はい | いいえ |
| 3. 電子タバコや通常のタバコの中毒にかかっていたと感じたことがありますか？ | はい | いいえ |
| 4. 電子タバコや通常のタバコを強く欲していると感じていますか？ | はい | いいえ |
| 5. 電子タバコや通常のタバコを強く必要としていると感じたことがありますか？ | はい | いいえ |
| 6. 学校など喫煙等が禁じられている場所で、電子タバコやタバコ製品の使用を抑えることが難しいですか？ | はい | いいえ |
| 7. しばらくの間、電子タバコまたはタバコ製品を使用していない場合（または止めようとした場合）、以下に回答してください。 | | |
| a. 電子タバコやタバコ製品を使用できなかったため、何かに集中するのが難しくなりましたか？ | はい | いいえ |
| b. 電子タバコやタバコ製品を使用できなかったため、イライラがつのってきましたか？ | はい | いいえ |
| c. 電子タバコやタバコ製品を使用することの必要性または衝動を強く感じましたか？ | はい | いいえ |
| d. 電子タバコやタバコ製品を使用できなかったため、緊張、落ち着きのなさ、不安を感じましたか？ | はい | いいえ |

「はい」と回答した回数が1以上の場合は、さらなる評価を必要とするようなニコチンに関する重大な問題を抱えていることを示唆している 他の指示は3ページをご覧ください。 →

*参考:

Wheeler, K. C., Fletcher, K. E., Wellman, R. J., & DiFranza, J. R. (2004). Screening adolescents for nicotine dependence: the Hooked On Nicotine Checklist. *J Adolesc Health, 35*(3), 225–230;

McKelvey, K., Baiocchi, M., & Halpern-Felsher, B. (2018). Adolescents' and Young Adults' Use and Perceptions of Pod-Based Electronic Cigarettes. *JAMA Network Open, 1*(6), e183535.

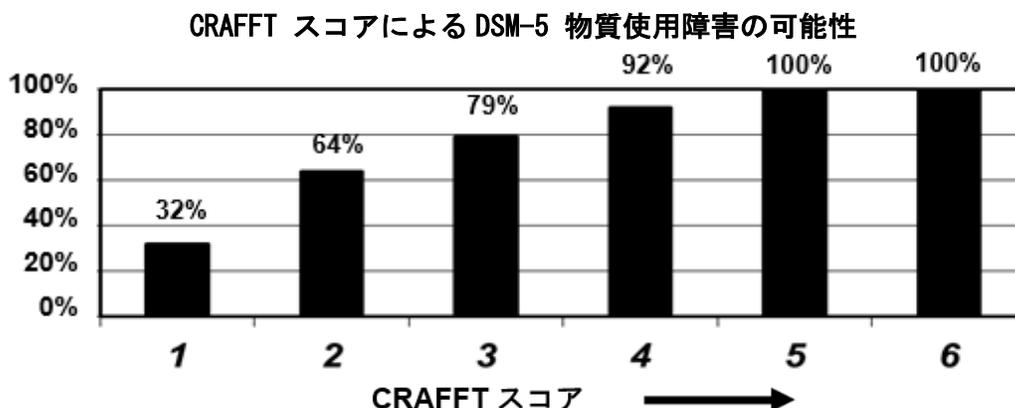
© John R. Knight, MD, Boston Children's Hospital, 2020.

Reproduced with permission from the Center for Adolescent Behavioral Health Research (CABHRe), Boston Children's Hospital.

crafft@childrens.harvard.edu

www.crafft.org

CRAFFT スコアの解釈



*データソース: Mitchell SG, Kelly SM, Gryczynski J, Myers CP, O'Grady KE, Kirk AS, & Schwartz RP. (2014). The CRAFFT cut-points and DSM-5 criteria for alcohol and other drugs: a reevaluation and reexamination. Substance Abuse, 35(4), 376-80.

下記の会話の例を参考に、手短なカウンセリングを提供してください。



1. スクリーニングの結果を再考する

答えが「はい」であった項目それぞれに、「もう少し詳しく話してもらえないかな?」と聞く。

2. 使用しないことを提案する

「あなたの主治医（看護婦、医療関係者）の観点から言うと、アルコール、マリファナや他の薬物を使うと 1) 脳の発達に悪影響を与えて、2) 学習や記憶の妨げになるし、3) 恥ずかしい、または危ない目にあったりするから使わないほうがいいと思うよ。」

3. 車の運転、乗車する事に関するリスクに関するカウンセリング

「若い人の一番の死因が車での事故なんだよ。私の患者さんみんなに Contract for Life を渡しているの、家に持って帰って保護者の人と一緒に読んで、安全に家に帰るためのプランを話し合ってくださいね。」

4. 自己啓発的な発言、返事を促す

非使用者: 「もし誰かから、どうしてお酒飲んだり薬物使用したりしないの、と聞かれたらどう答える?」

使用者: 「使わないことの利点には何があるかな?」

5. 自己効力感を強化する

「あなたは意志が強いから、アルコールや薬物が自分のゴールを達成することの妨げにならないようにすることができると思うよ。」



患者に **Contract for Life** を手渡す。 www.crafft.org/contract で入手できます。